

コード	10201
作成年度	26年度

# 基本事業評価表

基本事業名称	地域間交流の推進
--------	----------

総合計画の位置付け	
政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進
施策名称	しまの交流ネットワークづくり

課コード	117	関係課名
主管課名	観光物産課	

## 基本事業の目的

地域を越えた様々な交流を創出し、それに対応する受け入れ体制の整備を進め、国際的視野を持った人材の育成と国際交流の推進を図ることを目的とする。

## 基本事業の成果

成果指標名称 1	文化スポーツ交流者数	成果指標名称 2	修学旅行者数
成果指標の積算根拠	実績÷目標値	成果指標の積算根拠	実績÷目標値
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度
目標達成数値	600人	目標達成数値	400人

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果指標 1	目標 A	単位	人		600	600	600	600
	実績 B		人		698	789	673	-
	達成率 B/A		%		116.0	131.5	112.2	
成果指標 2	目標 A	単位	人		400	400	400	400
	実績 B		人		309	730	432	-
	達成率 B/A		%		77.3	182.5	108.0	

1次評価	現状	文化スポーツ交流事業では上五島をしまのキャンパスに見立て、島外からの学生や団体が数多く来島している。誘客促進に向けた新たな補助制度を創設したことが功を奏し、観光客の増加につながった。また、平成25年度から始まった「しまとく通貨」による誘客効果と利用促進を図るためパンフレット等を作成するなど、観光物産協会と協働して交流人口の増大を図っている。
	課題	文化スポーツ交流、修学旅行を更に増やすためには、教育委員会や観光物産協会との連携と充実した受け入れ体制づくり、更には地域資源を活かした様々な体験型メニューの造成が必要である。その他、国際交流分野では、外国人観光客誘致の補助制度を創設し、韓国からの来島者が増加傾向にある。今後は地元住民との相互交流を図る仕組みづくりが必要である。
	改善	教育委員会や観光物産協会と連動し、地元受け入れ体制を構築するとともに、修学旅行や文化スポーツ交流の促進を図らなければならない。また、国際的視野を持った人材の育成を図る必要がある。

2次評価	地域を越えた様々な交流を創出し、それに対応する受入体制の整備・充実に努めること。また、世界遺産登録により訪日外国人観光客等が増加することが想定されるため、国際交流の意義や必要性など住民への理解と認識を深めていただき、国際的視野を持った人材の育成に取り組み交流推進に努めること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

## ◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	102010101	しまのキャンパス体験補助事業	観光物産課	2,836千円	(途中) 事業内容を見直して継続
2	102010102	しま共通地域通貨事業	観光物産課	73,343千円	(途中) このまま事業を継続
3	102010103	新上五島町外国人観光客誘致推進事業	観光物産課	597千円	(途中) 事業内容を見直して継続
4	102010201	しまとく通貨利用促進事業	観光物産課	989千円	(途中) このまま事業を継続
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				77,765千円	